

令和2年度
第1回三重県感染対策支援ネットワーク研修会

新型コロナウイルス感染症患者の
受け入れ対応の現状と課題
—看護管理者としての取り組み—

令和2年8月30日(日)10:30~11:00
市立四日市病院 川島 好子

市立四日市病院の概要

市立四日市病院は、三重県北勢保健医療圏の急性期病院として、救急医療、高度医療など急性期医療を提供し、三重県の北勢地域において基幹病院の役割を果たしている。

- 平成12年9月 感染症病床指定医療機関
- 平成21年2月 救命救急センター（三次救急医療施設）の指定
- 平成24年6月 「地域医療支援病院」の承認を受ける
- 平成25年10月 「総合周産期母子医療センター」の指定
- 平成31年4月 「がん診療連携拠点病院」の指定

市立四日市病院 新型コロナウイルス感染予防対策

感染管理体制 委員会の発足

○院内感染予防対策委員会

病院長のもとに組織横断的の代表を構成員として組織する委員会
毎月1回定期的に会議を行い、医療関連感染対策を行う。

○感染症予防対策室

1週間に1回、院内各組織の感染制御チーム（ICT）によりカンファレンスを行い、感染対策における情報交換を行う

○**新型コロナウイルス感染症対策会議**

副院長を委員長、感染管理部長医師を副院長とし、各部門代表が現場の問題について検討する
感染対策を提案し、実施する

**病院の方針を確認
院長の承認を得る**

感染管理体制 病院の方針

・通常業務の継続

急性期病院としての役割を果たす
救命救急センター（三次救急患者）24時間患者受け入れ
がん診療連携拠点病院として がん患者の治療継続
予約手術実施 化学療法・放射線治療の継続
外来患者について電話診療など来院患者の制限

・感染症病床指定医療機関としての使命

新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ準備
感染症室2床 陰圧室2床 マニュアル準備
PCR検査の実施

感染管理体制 認定看護師の役割分担

新型コロナウイルス感染症対策委員会

委員長：副院長

副委員長：感染管理部長医師

- ・安全管理室メンバー、看護部長・看護部次長、
- ・総務課・施設課・医事課課長、
- ・放射線科技師・検査技師・臨床工学士・栄養科など代表者

感染管理認定看護師専従
(安全管理室)

感染管理認定看護師
(看護部)

感染管理認定看護師
(病棟担当)

保健所・行政との窓口・交渉
医師からの相談

感染管理体制

新型コロナウイルス感染患者担当者

専従医師1名

1週間交替 3年目以上輪番制
帰国者接触者外来患者の診察 PCR検査採取
陽性または疑似症患者の主治医
重症患者については、呼吸器内科医が主治医となる

専属担当看護師6名（初期）

1か月～3か月担当 希望者・推薦者（副師長・主幹）
1勤務1名体制 三交替
陽性または疑似症患者担当 入院・PCR採取介助

帰国者・接触者外来担当看護師

外来看護師3名輪番制 診察・PCR採取介助

陽性または疑似症患者の案内

医事課スタッフ、警備・安全担当者
自動車の誘導 患者の誘導 安全確保

感染管理認定看護師 （専従）

患者の受け入れ連絡・調整
担当医師への連絡・調整

医療安全室・看護部が
個々の担当者へ連絡調整
受け入れ誘導（確認）
検体受け取り、消毒・清掃
書類確認

夜間・休日
日・当直師長

患者を守るために

・通常診療の継続

外来患者のトリアージ 体温チェック（看護師1名・医事課2名）

発熱者（**37.5°C以上**） 呼吸症状など

専用外来設置（発熱者用）

8:30～11:30

院外へ設置

受付⇒待合室⇒検査ブース（採血・胸部レントゲン実施）

診察⇒必要な患者に、説明後PCR検査施行 PCR採取専用ブースにて実施

コロナ担当医師1名（1週間専属、通常業務を配慮）

担当看護師2名（外来看護師）

受付事務1名

外来看護師長
応援・調整

患者を守るために

- 面会制限⇒面会禁止 4月27日
病院側から要請があった場合のみ、来院許可とする
入口が複数あり、封じ込めることがむずかしい。
「特別入館引換証」患者一人につき1名のみ渡す
入口受付にて「許可書」と交換、ホルダーに入れ首から下げる

面会禁止となった場合

- 物品納品業者は、2階まで、OP・中材のみ直接納品
- 看護学生実習受け入れ中止
- 看護部は、見学・インターンシップ中止

看護職員を守るために

- 労務管理
- 労働環境の整備
- 教育・研修について
- 次年度新採用者の確保
- 心のケア

職員を守るために

- 四日市市職員へ

密を避ける（会食禁止、不要不急の県外外出自粛など）

食事中は、一方向に向かって座る。お話するときはマスクを装着する。4月13日
会議の際は、換気を行う。人数制限を行う

- 研修 教育

防護具着脱訓練1月31日・2月3日 N95 マスクフィットテスト

- 看護学生実習受け入れ

面会禁止となった場合 実習受け入れ禁止へ

- 次年度新採用者の確保

5月・6月採用試験を実施。マスク装着、会場を分け、人数制限した。

新型コロナウイルス感染症担当者の看護体制（陽性・疑似症患者）

感染症2床 2月20日～

- 1勤務1人
- 6人選抜
- 3交替
(8時間)
- 副師長・主幹
- 推薦

感染症3床 3月1日～

- 1勤務2人
- 13人選抜
- 新規担当者の
教育
- 感染対策手順
の作成

病棟開設 4月21日～

- 1勤務3人
- ○病棟13人
- 選抜継続6人
- PCR採取介
助

感染症病棟 疑似症患者

- 1勤務4人
- 総数24人
- (疑似症) 感
染症病室と新
設病棟の2か
所となった
- **個人面接**

新型コロナウイルス感染症担当看護師を守るために

• 労務管理 労働環境の整備

8時間交替 生活リズムの変更

PPE装着の指導・感染対策手順教育

休憩室を確保

休憩時間の確保、水分補給

職員用のシャワー室確保（PPE装着により発汗あり）

通常業務と兼務しない⇒入院患者が0人となり、兼務を実施

看護部次長を統括担当として配置

2～3か月で担当交替

通常業務にもどる場合 休暇（3日～7日）…希望者のみ

同居家族への配慮のためホテル提供

危険手当の確保

心のケア 個人面接

コロナ担当以外の看護師や医師から「来た来た」と言われる。差別されている感じがする。

元の部署の病棟会へ参加をしてよいのか？

三交替に慣れない。深夜出勤が落ち着かない。

コロナ担当は、12時間より8時間のほうが良い

家族への配慮
食事時間をずらしている。
自分の部屋を作った。

医療従事者ということで、近所の人から何か言われませんか？

報道されている重症患者対応を見て、自分にもできるのだろうか？と不安になる

担当を拒否すると他の人に当たるので、申し訳ない。



問題点について改善

- **開設病棟の設備（6月改修工事）**

- 手洗い場

- 前室の確保（パーテーション）

- 換気口の増設、負圧の確保

- 前室の電源コンセント、電子カルテのケーブルコンセント

- 出入口の鍵テンキー（施錠）

- **ソフト面**

- 日々の清掃担当者（専門委託業者）

- 患者駐車場確保（誘導係）

看護管理者としての今後の課題

- **陽性患者の受け入れ対応**

- 病床数を増床するタイミング（一般病棟⇒感染病棟への開設）

- 担当人員の増員のタイミング（入院患者無⇒陽性患者入院）

- **病院としての診療体制（レベル別）の構築**

- 感染状況レベル0～5段階（案）作成中 他部門や多職種と協働

- **新型コロナウイルス感染症担当者の選抜と対応**

- ストレスが多く、定期的に交替する。

- 個人面談を行い、意見を聴く

今後について

- 担当看護師の心理的ケア
- 3か月以上担当している職員に対して、今後の継続確認
- 手順・マニュアルを作成し、効率よく活用できるように修正していく



人と人との接触が避けられない医療従事者は、患者を守り・自分を守り・拡大を防ぐために感染予防対策を徹底する。